それぞれの学年にはカラーがある。そのカラーの中に一人ひとりのカラーが人数分ある。カラフルとは個性豊かということだ▼今年の1年生のカラーは、蜂の子のようだ。「校長先生はどこにいるの?」「校長先生は校長室にいるよ」「どこにあるの?」「どこでしょう?探してね」4月当初そんな会話をした▼その後最初に声をかけてきてくれたのは、恐竜のTシャツがお気に入りの男子。朝、校門の前で子どもたちを迎えていた時、「校長室見つけた」と小さな声で教えてくれた▼それから数日後、20分休みになると、足音と甲高い声とともに、彼らはやってくる。まさに襲撃だ。ソファの上に乗ったと思ったら立ち上がり、あれも触り、これも触り・・・そして、自分のペースで話しかけてきてくれる。だれがしゃべってしようとお構いなし▼自分が1年生を担当したおかげで聖徳太子ほどではないが、3人ぐらいとなら、ちょっとズレながら聞けるようになったが、実は会話は成立していなかった。聞いてはほしいけど、会話を求めているのだからリアクション▼もうすぐお勉強の時間だよと言うと、蜂の子を散らすかのように教室に帰っていく。そんな日が続いたある日、担任の先生がやってきて一言「1年生のみんな!外で遊ぶよ!」「はい!」。ノックの仕方と校長室の入り方は覚えたが、出方はまだ教えていなかった。